

神奈川ウォーキング参加 H23-16

# 相模西国観音札所巡りーⅡ

日時：平成24年3月8日(木) 集合 二宮駅9:45

コース：二宮駅(10:10発バス)→九番札所「迎接院」→八番札所「普門院・跡地」→七番札所「観音寺」→六番札所「東昌寺」→十番札所「真勝寺」<昼食>→十一番札所「西長院」→十二番札所「金龍寺」→巡礼者慰霊碑(バス)→大磯駅解散 12,000歩 8km

参加者：山浦L・平山SL・野中(講師)・一般4人(氏名)を含め、合計39人

班分け：1班GL大貫和子・鈴木徳・岸田・山浦和・平山・小川・藤原・関根・深瀬・野中・原 ⇒11人

2班GL平林幹子・中塚・荒波・常盤・栗本・山浦レ・青山・小林・早田 ⇒9人

3班GL沢崎鉄子・斎藤・神谷・山内・河野・平野・佐藤繁・内田絵・濱崎和・伊藤・本山 ⇒11人

4班GL中村年代・鳥畑・藤崎・吉峯・吉越・松田・鈴木・安藤 ⇒8人

天候：曇り

1月24日(火)第1回は28人の参加で五番札所「蓮花院」まで終り、今回は大磯町に有る六～十二番札所を巡る。今週は前後予定が詰まっているが、昼食付きの為、前日申し込みと言う訳にいかず、締め切り日2/28(火)に申し込み。参加してみたら39人の多数参加で、熟男11人+熟女27人=合計39人の多数参加でした。流石に人数多く、昼食場所とれず、二宮駅改札出口で「濱田屋」の弁当を戴き、「真勝寺」で昼食です。駅前10:10発のバスは我々KWCの貸し切りでした。さあ～札所巡り、出発しましょう!



## ①九番札所 自来寺「<sup>こうじょういん</sup>迎接院」浄土宗 十一面観世音菩薩

木造阿弥陀如来坐像(町重文)  
迎接院本尊、寄木造。玉眼嵌入像高一二二、五〇cm。引き締まった頬と、しっかりとした目鼻立ち、バランスのとれた体軀など鎌倉時代の作風を思わせる優品ですが、首の作り方、胎内の構造から近世初頭の大作と考えられます。胎内には、寛文十三年(一六七三)、天和二年(一六八二)、元禄四年(一六九一)の古文書が納入されています。



2009年に新築された観音堂(開基鈴木仁左衛門・現在子孫宅あり)



山浦和Lによるストレッチ



一般参加の4人紹介



山浦L & 平山SL



野中講師



↑木造阿弥陀如来座像

＜十一面観世音菩薩は知足寺（二宮町）に＞



写真撮りに熱中し観音堂を最後に出たのですが、背中が軽い。リュックを忘れる。傘も1本有り、こちらは講義に熱中された野中さんでした。

② 8番札所 愛執山「普門寺」曹洞宗 十一面観世音菩薩

←普門院跡地

十一面観世音像は普門寺再興まで「東昌寺」にて御参りが出来、御朱印もこちらで。野中さんの説明を聴く →





③七番札所 <sup>しょうじょうざん</sup>清生山「観音寺」天台宗 十一面観音菩薩



←紅梅が歓迎



↑御住職の御説明  
位牌堂に修復された地蔵尊が有ります



↑十一面観音菩薩

(本堂は平成22年2月に火災同年5月に再建、本尊は住職と総代で担ぎ出されて焼失を免れ、十一面観音菩薩像は綺麗に磨かれていました)

↑十字架の墓も有ります



←次の六番札所「東昌寺」に向う途中の蓮池の神社は以前KWCウォークで通った道でした。鷹取山も直ぐ近くです

④六番札所 生澤山「東昌寺」曹洞宗 聖観世音菩薩



↑東昌寺

↑六地藏さんが温かくお迎え



聖観世音菩薩（拡大↑）→



←マリア様の様な石像や、古い石像が沢山有ります



y



←東海道線を潜ると↑樗?とその見事な猿の腰掛



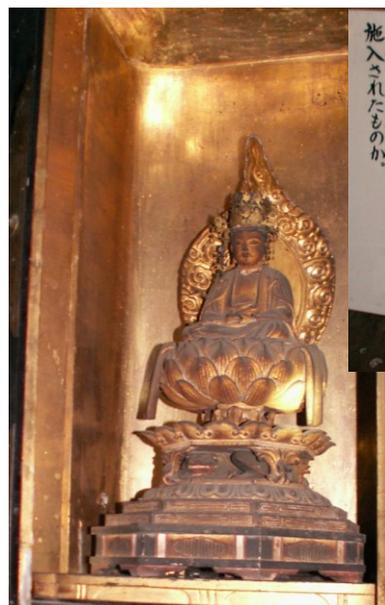
⑤十番札所 相府山 「真勝寺」真言宗 12:40~14:00 昼食とお話・仏像学習



24代内田信行御令室信妙住職&山浦さん



昼食タイム「濱田屋の弁当」&お菓子・お茶付き この後住職から由緒あるお寺の歴史を詳しく聴きました



華嚴の釈迦像という禅宗の寺院に祀られるこの多像であるとするは其系を伝える当寺に施入れここに疑を疑る小像ながら見事な彫刻技法を見ること限は南北朝の頃の作かとも考えられる或いは室町時代中期か(宝冠 台座 彩色は後補)  
以上のことから考察して、もし製作当時に施入れたすれは国分寺標号を携う当寺故に宗派にこだわらず受入れたものか、または後世になつてからの念持仏であつた小像であることとを施入されたものか。



↑如意輪観世音菩薩の像と座 (拡大)

「番場の観音様」で知られているこのお寺の御本尊は「大日如来様」であつたが1926年焼失し以来如意輪観音が祀られている。この地の国府との関係深く、由緒ある六所神社の格式ある別当寺でも有つたようです。



⑥十一番札所 谷村山「西長院」【梅林寺】 浄土宗





↑千住観音菩薩



↑天井の絵綺麗、ここの住職画



後鳥羽天皇時代、梶原平三景の家臣、悪太郎義景がこの地像を深く信仰していた。建久2年鶴岡八幡宮に参拝する源頼朝が襲われ、敵方と間違えられ畠山重忠に討たれたが、彼の体は傷一つ無く、この地像が変わって血潮が流れ刀剣で受けた傷が大きく残っていた



茶室「城山庵」→

平山SL「大磯城山公園」へサービスウォーク

←三井城山荘  
写真



見晴らしの良い高台の公園で  
←アセビが坂道で歓迎してくれました。頂上では猫も御迎え→

ここの地盤は  
海拔  
42m  
大磯城山公園





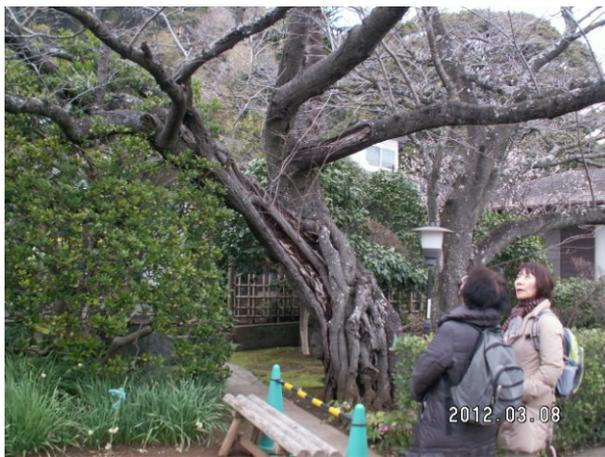
↑再び東海道線を潜り最後の「金龍寺」へ  
←先導の平山SL&熟女お二人「最後までよろしく！」

⑦十二番札所 小磯山「金龍寺」真言宗



御朱印タイム間、野中先生講義 ↓ ↑片寄門

↑木蓮 梅・藤・サルスベリ他庭木が綺麗



楓？に桜咲く？  
山浦L「クール  
ダウンが大事です  
よ！」→



⑧巡礼者慰霊碑



15:59「八坂神社」発15:59のバスで  
大磯駅へ

⑨アフターウォーク in 「讃岐うどん屋」(前回と同じ場所貸切) 2室に班毎に着席しコミュニケ

新入会員宣言よろしく



安藤さん



松田さん

特別企画「青山さんハッピーバースデイクーキ↑」 ↑沢崎さんの手品

編集後記

前回1/24(火)は「にしげん」での「金目鯛煮付け&刺身御膳」昼食、流石今回は人数多く「濱田屋弁当」でしたが、真勝寺内田信妙住職の温かい御もてなしに、深く感謝致します。これも山浦L・平山Sさんの事前折衝を含めた企画のお陰だと思えます。改めて厚く御礼申し上げます。アフターも楽しい企画を入れられ、そのせいか、前回青山さんに続き、今回も2人が新しく入会されました。吉越さんの勧誘力も？野中さんには判り易い仏像の御話前回に続き、有り難うございました。これからもよろしくお願ひします。

記述は平塚市観光協会「相模の札所巡り」を参照にさせていただきましたが、失礼な点や間違いも有るかもしれませんが、御許しの程お願ひ申し上げます。

前日3/7(水)5歳(女)と11ヶ月(男)2人の孫を連れて「浜離宮」と「東京タワー」案内を頼まれて行きました。最後浜松町で別れる時、歩数計を見たら17,500歩でした。5歳の歩幅では35,000歩になるのではと「凄い」と驚きました。東日本大震災「3・11」1周年を迎えます、我々シルバーも若い世代との絆を大切にしながら、迷惑をかけぬよう、強い日本になるよう、まだまだ頑張らなければならないとあらためて感じた次第です。3/6(火)NHK歌謡コンサート「あしたの笑顔に」にも行ってきました。東北出身の歌手を中心に、東日本大震災を想い、心のこもった歌とトークに感動しました。

鎌倉から室町時代のこの地の歴史を頭に描きながら、仏様は過去と未来の心を開いてくれます。

次は平塚に入ります。皆さん再会を期待しております。